

この1mmのために僕たちは頑張ってきているんで

本日で令和4年度後期前半が終了します。2022年の登校最終日を迎えました。数日前、2年生のあるクラスの掲示物「今年一年を漢字一字で表そう！」に一通り目を通したことがありました。その際、サッカーW杯の日本代表の活躍に関する漢字がいくつかあることにも気が付きました。「絆」「青」「勝」です。私は、日本代表の戦いに多くの感動をいただきましたが、皆さんもこのサッカーW杯に関心をもち、同じような思いで戦いを見守っていたんだな、と感じることができました。私が一番印象に残っている場面は、スペイン戦で日本が2点目をあげた場面です。三苦選手の折り返しに田中選手があわせた逆転ゴールは本当に見事でした。代表のキャプテンである吉田選手は、その場面の、ゴールラインギリギリにかかっているボールの映像を携帯電話の待ち受け画面にしていると聞きました。吉田選手はこのことについて次のように発言しています。「この1mmのために僕たちは頑張ってきてるんで」。この発言を耳にして思い出したのが、予選初戦・ドイツ戦勝利後の円陣で森保監督が発した言葉です。「このために準備をしてきた」「粘り強く戦うことができた」と選手たちを称えていました。あの1mmは、日本代表が積み上げてきた準備が土台になっているんだな、粘り強く戦うことが全ての選手に意識づけられていた結果なんだなと、吉田選手と森保監督の言葉が結び付き、理解することができたのです。

ここでは、森保監督の言葉のうち特に「準備」ということに視点をあて、お話を続けたいと思います。先月のふれあい講演会で、日本を代表する女子バスケットボールチームENEOSのコーチ・今野さんからお話を伺いました。今野さんが皆さんからの質問を受けていた場面のことです。「強い選手の共通点は？」という質問に、今野さんは「準備をしっかりとやっていること」と答えていました。そして、強い選手は、試合に向けて、自分で考え、目標をもって練習に取り組んでいると補足されていました。準備をしっかりとすることは、目標の実現のために欠かすことができないことなのだと改めて思います。

目標の実現といえ、3年生にとっては進路の実現でしょう。1, 2年生にとっては後期の期末テストに目標を設定するのもいいかもしれませんね。もう少し先を見据え、1年後、2年後の進路実現を見通すことも大事です。まずは、自分なりの目標を設定し、目標の実現に向けて準備を進めていってほしいです。準備を進めるとは、計画を立てることも含みます。進路の実現や期末テストであれば、計画に従って学習を進めることです。学習面だけではなく、部活動の学校総合体育大会やコンクールなどを目標に設定することもできます。日々練習は継続しつつも、学総やコンクールはまだまだ先のことと考えていないでしょうか。決して先ではありません。それどころか今から準備するのでは遅いくらいです。大会前は、最終調整ですから、技術や体力を高めるための準備は、繰り返しになりますが、今からでは遅いくらいです。先ほどお話した、吉田選手は「この1mmのために僕たちは頑張ってきてるんで」と述べた後、次のように続けています。「この1mmの差が大きな差を生むんです」。準備を重ねてきた人だからわかることなのだと思います。

明日からは冬休みです。いつもよりは、まとまった時間がとれます。この冬休みを新たなスタートとして、自分の、自分たちの目標を具体的にもって、計画的に準備を進めることもできるはずです。冬休み明けの1月10日、皆さん元気に登校してください。楽しみに待っています。